

# 常なる磐

つねなる いわ

令和3年1月22日(金)

その2

## ◇ 玄関から見える景色

茜色の衣をまとった玄関前のドウダンツツジもすっかり葉を落とし、玄関前の景色はすっかり寂しくなった。



東側の景色もごらんのとおり。

葉を落とした広葉樹の幹の白さが、いい塩梅で雪模様を描いているよう。

一方、西側の景色。

新しく加わった役者が、こちらもいい塩梅で景色を彩り、景観をぎゅっと引き締める。



新しい役者とは、創立120年記念石板碑【常磐東っ子120年宣言碑】である。

白亜の壁に黒御影石の石板。白と黒のコントラストが、これまで以上に正面玄関の彩りを華やかにしている。

春になれば、ドウダンツツジの緑。そして白と黒。

秋になれば、ドウダンツツジの赤。そしてモノトーン。今から楽しみである。

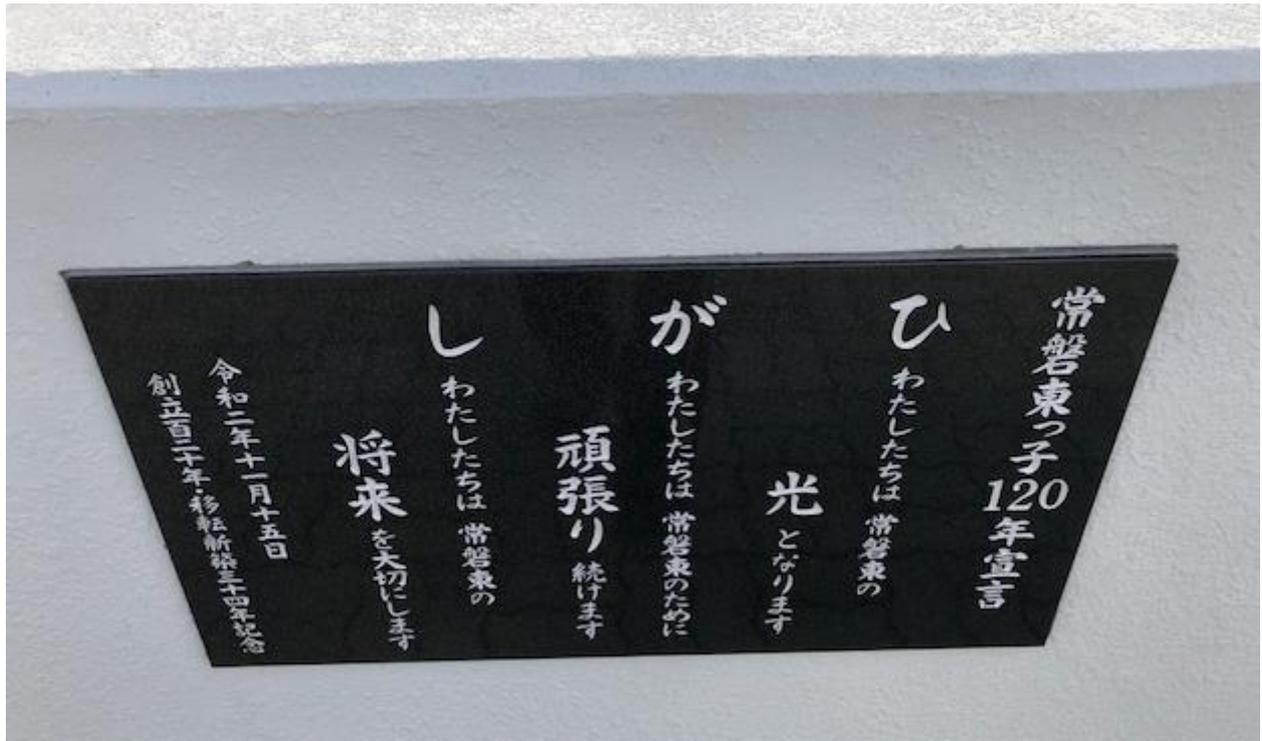
この記念石板碑は、式典実行委員の幹部の方の取り計らいで作っていただいたものだ。

昨年(令和2年)の12月22日に工事を行い、お披露目は2学期の終業式。とてもよい令和2年の締め括りとなった。

石板碑をこの位置に配置したのには理由がある。子供たちが登校時にさくら階段を上りながら正面に見えるのが「求めてはげむ」の校訓碑。続いて階段を右手に折れたところに見えるように考えた。校訓と宣言で力を蓄えるわけだ。



校訓と宣言で力を蓄えるわけだ。



## 【常磐東っ子 120 年宣言文】

ひ

わたしたちは 常磐東の **光** となります

が

わたしたちは 常磐東のために **頑張り** 続けます

し

わたしたちは 常磐東の **将来** を大切にします

学校だけではない。

生涯にわたって故郷を愛し、大切にし、貢献する。

これが宣言の意図するところだ。

卒業しても、高校生になっても、社会人になっても、年老いても、常磐東学区の光となってくれることを願う。